【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成18年5月18日(2006.5.18)

【公開番号】特開2001-45439(P2001-45439A)
【公開日】平成13年2月16日(2001.2.16)
【出願番号】特願平11-267945
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/92　(2006.01)
Ｇ１１Ｂ　20/10　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/765　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/781　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/92　Ｃ
Ｇ１１Ｂ　20/10　３１１
Ｈ０４Ｎ　5/781　５１０Ｃ
Ｈ０４Ｎ　5/92　Ｈ

【手続補正書】
【提出日】平成18年3月17日(2006.3.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】 少なくとも一方が可変レートの第１のトランスポートストリームと第２のトランスポートストリームを多重化して、第３のトランスポートストリームを生成する第１の生成手段と、
前記第１の生成手段により生成された前記第３のトランスポートストリームを記録する記録手段と
を備えることを特徴とする記録装置。
【請求項２】 前記第１の生成手段は、
前記第３のトランスポートストリームの最大ビットレートを推定する推定手段と、
前記推定手段により推定された前記最大ビットレートに応じて、前記第１のトランスポートストリームおよび前記第２のトランスポートストリームにヌル情報を挿入する挿入手段と
を備えることを特徴とする請求項１に記載の記録装置。
【請求項３】 前記第１の生成手段は、
多重化された前記第１のトランスポートストリームと前記第２のトランスポートストリームから前記ヌル情報を除去する除去手段
をさらに備えることを特徴する請求項２に記載の記録装置。
【請求項４】 複数のプログラムが多重化された第４のトランスポートストリームから前記第１のトランスポートストリームまたは前記第２のトランスポートストリームを生成する第２の生成手段
をさらに備えることを特徴とする請求項１に記載の記録装置。
【請求項５】 少なくとも一方が可変レートの第１のトランスポートストリームと第２のトランスポートストリームを多重化して、第３のトランスポートストリームを生成する第１の生成ステップと、
前記第１の生成ステップの処理で生成された前記第３のトランスポートストリームを記

録する記録ステップと
を含むことを特徴とする記録方法。
【請求項６】　前記第１の生成ステップは、
前記第３のトランスポートストリームの最大ビットレートを推定する推定ステップと、
前記推定ステップの処理で推定された前記最大ビットレートに応じて、前記第１のトランスポートストリームおよび前記第２のトランスポートストリームにヌル情報を挿入する挿入ステップ
を含むことを特徴とする請求項５に記載の記録方法。
【請求項７】前記第1の生成ステップは、
多重化された前記第１のトランスポートストリームと前記第２のトランスポートストリームから前記ヌル情報を除去する除去ステップ
をさらに含むことを特徴する請求項６に記載の記録方法。
【請求項８】　複数のプログラムが多重化された第４のトランスポートストリームから前記第１のトランスポートストリームまたは前記第２のトランスポートストリームを生成する第２の生成ステップ
をさらに含むことを特徴とする請求項５に記載の記録方法。
【請求項９】　少なくとも一方が可変レートの第１のトランスポートストリームと第２のトランスポートストリームを多重化して、第３のトランスポートストリームを生成する生成ステップと、
前記生成ステップの処理で生成された前記第３のトランスポートストリームを記録する記録ステップと
を含むことを特徴とするコンピュータが読み取り可能なプログラムが記録されている記録媒体。
【請求項１０】　少なくとも一方が可変レートの第１のトランスポートストリームと第２のトランスポートストリームが多重化されている第３のトランスポートストリームが記録されている記録媒体から前記第３のトランスポートストリームを読み出す読み出し手段と、
前記読み出し手段により読み出された前記第３のトランスポートストリームから、前記第１のトランスポートストリームと前記第２のトランスポートストリームを分離する分離手段と、
前記分離手段により分離された前記第１のトランスポートストリームと前記第２のトランスポートストリームを出力する出力手段と
を備えることを特徴とする再生装置。
【請求項１１】　少なくとも一方が可変レートの第１のトランスポートストリームと第２のトランスポートストリームが多重化されている第３のトランスポートストリームが記録されている記録媒体から前記第３のトランスポートストリームを読み出す読み出しステップと、
前記読み出しステップの処理で読み出された前記第３のトランスポートストリームから、前記第１のトランスポートストリームと前記第２のトランスポートストリームを分離する分離ステップと、
前記分離ステップの処理で分離された前記第１のトランスポートストリームと前記第２のトランスポートストリームを出力する出力ステップと
を含むことを特徴とする再生方法。
【請求項１２】　少なくとも一方が可変レートの第１のトランスポートストリームと第２のトランスポートストリームが多重化されている第３のトランスポートストリームを入力する入力ステップと、
前記入力ステップの処理で入力された前記第３のトランスポートストリームから、前記第１のトランスポートストリームと前記第２のトランスポートストリームを分離する分離ステップと、
前記分離ステップの処理で分離された前記第１のトランスポートストリームと前記第２

のトランスポートストリームを出力する出力ステップと
を含むことを特徴とするコンピュータが読み取り可能なプログラムが記録されている記録媒体。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２７】
第１の生成手段には、第３のトランスポートストリームの最大ビットレートを推定する推定手段と、推定手段により推定された最大ビットレートに応じて、第１のトランスポートストリームおよび第２のトランスポートストリームにヌル情報を挿入する挿入手段とを設けることができる。
第1の生成手段には、多重化された第１のトランスポートストリームと第２のトランスポートストリームからヌル情報を除去する除去手段をさらに設けることができる。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２９】
請求項５に記載の記録方法は、少なくとも一方が可変レートの第１のトランスポートストリームと第２のトランスポートストリームを多重化して、第３のトランスポートストリームを生成する第１の生成ステップと、第１の生成ステップの処理で生成された第３のトランスポートストリームを記録する記録ステップとを含むことを特徴とする。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３０】
第１の生成ステップには、第３のトランスポートストリームの最大ビットレートを推定する推定ステップと、推定ステップの処理で推定された最大ビットレートに応じて、第１のトランスポートストリームおよび第２のトランスポートストリームにヌル情報を挿入する挿入ステップとを設けることができる。
第1の生成ステップには、多重化された第１のトランスポートストリームと第２のトランスポートストリームからヌル情報を除去する除去ステップさらにを含ませることができる。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３２】
請求項９に記載の記録媒体は、少なくとも一方が可変レートの第１のトランスポートストリームと第２のトランスポートストリームを多重化して、第３のトランスポートストリームを生成する生成ステップと、生成ステップの処理で生成された第３のトランスポートストリームを記録する記録ステップとを含むことを特徴とする。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００３３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３３】
請求項１に記載の記録装置、請求項５に記載の記録方法、および請求項９に記載の記録媒体においては、少なくとも一方が可変レートの第１のトランスポートストリームと第２のトランスポートストリームが多重化され、第３のトランスポートストリームが生成され、生成された第３のトランスポートストリームが記録される。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３４】
請求項１０に記載の再生装置は、少なくとも一方が可変レートの第１のトランスポートストリームと第２のトランスポートストリームが多重化されている第３のトランスポートストリームが記録されている記録媒体から第３のトランスポートストリームを読み出す読み出し手段と、前記読み出し手段により読み出された第３のトランスポートストリームから、第１のトランスポートストリームと第２のトランスポートストリームを分離する分離手段と、分離手段により分離された第１のトランスポートストリームと第２のトランスポートストリームを出力する出力手段とを備えることを特徴とする。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３５】
請求項１１に記載の再生方法は、少なくとも一方が可変レートの第１のトランスポートストリームと第２のトランスポートストリームが多重化されている第３のトランスポートストリームが記録されている記録媒体から第３のトランスポートストリームを読み出す読み出しステップと、読み出しステップの処理で読み出された第３のトランスポートストリームから、第１のトランスポートストリームと第２のトランスポートストリームを分離する分離ステップと、分離ステップの処理で分離された第１のトランスポートストリームと第２のトランスポートストリームを出力する出力ステップとを含むことを特徴とする。
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３６】
請求項１２に記載の記録媒体は、少なくとも一方が可変レートの第１のトランスポートストリームと第２のトランスポートストリームが多重化されている第３のトランスポートストリームを入力する入力ステップと、入力ステップの処理で入力された第３のトランスポートストリームから、第１のトランスポートストリームと第２のトランスポートストリームを分離する分離ステップと、分離ステップの処理で分離された第１のトランスポートストリームと第２のトランスポートストリームを出力する出力ステップとを含むことを特徴とする。
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３７

【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３７】
請求項１０に記載の再生装置、請求項１１に記載の再生方法、および請求項１２に記載の記録媒体においては、少なくとも一方が可変レートの第１のトランスポートストリームと第２のトランスポートストリームが多重化されている第３のトランスポートストリームが入力され、入力された第３のトランスポートストリームから、第１のトランスポートストリームと第２のトランスポートストリームが分離され、分離された第１のトランスポートストリームと第２のトランスポートストリームが出力される。
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００８７】
【発明の効果】
請求項１に記載の記録装置、請求項５に記載の記録方法、および請求項９に記載の記録媒体によれば、少なくとも一方が可変レートの第１のトランスポートストリームと第２のトランスポートストリームを多重化して、第３のトランスポートストリームを生成するようにしたので、効率よく、第１のトランスポートストリームおよび第２のトランスポートストリームを記録することができる。
【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００８８】
請求項１０に記載の再生装置、請求項１１に記載の再生方法、および請求項１２に記載の記録媒体によれば、少なくとも一方が可変レートの第１のトランスポートストリームと第２のトランスポートストリームが多重化されている第３のトランスポートストリームを分離するようにしたので、第１のトランスポートストリームまたは第２のトランスポートストリームを再生することができる。